

だいせつざんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

“ベスト”シーズン

1月末から2月初めごろになると、ビジターセンター周辺は、降り積もった雪が小さな谷ややぶを覆い隠し、なだらかな、モサモサと膝や腰まで沈む雪面がはるか向こうまで続くようになってきます。

姿見をスノーシューで行けば、避難小屋「石室(い



▲姿見石室

スキーヤーでにぎわう旭岳(旭岳姿見)



しむろ)は屋根裏窓まで埋もれていることが少なくありません。

最も冬らしいこのころにはまた、明るい春が驚くほどの速

さで進んでくることが感じられます。

年始に9時間ほどだった昼の時間(太陽の出ている時間)は、2月初旬で10時間、下旬には11時間へと伸び、青空と山々の白の対比が目を楽ませる日も増えてきます。

降雪の後の好天、こんな朝に滑ったら気持ちよさそうですね。天気予報やwebカメラをチェックして、新雪を逃さず滑ろうという人々が毎日やってきます。また、山頂の北側に新雪が溜まってくると、好天下の登頂を狙う登山者も訪れます。

旭岳温泉もアカエゾマツの深い森、広い雪原が素晴らしい“イチオシ”シーズン。天気を見計らって、一度おいでになってみませんか？ 服装、準備など、どうぞお気軽にお尋ねください。

旭岳ビジターセンター管理主任 菊地 基

俳句

括られしままに一輪冬薔薇

小林 露葉

化粧して風邪のたるさを調へし

青野 公花

立冬や少し気になる骨密度

杉山 ひろのり

青銅のピッコロせはし秋の鳶

徳光 吐苦

冬ざれや猫の足あと軒で消え

杉山 りつ

身ぶるいをつして知る今朝の冬

山口 佐知子

角砂糖ゆっくり溶けて冬立ちぬ

高瀬 潤

冬来たる土間で干鱈を叩く音

石澤 清宏

恙なく阿吽の暮らしたまご酒

澤田 久美子

絢爛の彩りは夢冬木立

松山 蓉子

群青に染めし夜更けの雪明り

三島 智

のど飴の小さくなるまで雪を掻く

秋山 深雪

御手洗の蛇口閉じられ冬に入る

長谷川 きみゑ

